

 NPO 法人アレルギーを考える母の会主催 **オンライン** 研修会

(後援：厚生労働省)

# 小児アレルギー疾患の保健指導を充実 させる研修会

募集要項 (令和 5 年度)

(独) 福祉医療機構 社会福祉振興助成事業

小児アレルギー疾患の発症予防や子どもたちの健やかな成長に資する乳幼児期の「保健指導」の重要性が指摘されています。令和 4 年 3 月に改正された厚生労働省の「アレルギー疾患対策の推進に関する基本的な指針」においても、従来の「重症化予防」に加え「発症予防」を重視した取り組みの推進が強調されました。本研修会では、冊子「母子保健事業で取り組むアレルギー疾患の発症予防・重症化予防」(本研修会講師が作成)などを教材に、アレルギーの発症予防が期待される適切なスキンケアや離乳支援を含め、小児アレルギーの最新知識と適切な対応、母子保健事業の中でどう保健指導を展開するかなどを具体的、実践的に学びます。主な参加対象は、保健師、管理栄養士、栄養士、助産師、医師、看護師、行政職員です。

## \* 本研修会はオンライン会議ツール (Zoom) を 使用して行います

(インターネットを利用できる PC、スマートフォンで参加できます)



**日程** (古川真弓先生が 2 回担当する研修会は同じ内容です)

### 【第 1 回】令和 5 年 12 月 4 日 (月) 13:30~16:30 質疑あり

○内容：アレルギーの「保健指導」と母子保健事業における具体的な展開

○講師：古川真弓先生 (さいわいこどもクリニック、前東京都立小児総合医療センターアレルギー科)

### 【第 2 回】令和 5 年 12 月 15 日 (金) 13:30~16:30 質疑あり

○内容：アレルギーの「保健指導」と母子保健事業における具体的な展開

○講師：古川真弓先生 (さいわいこどもクリニック、前東京都立小児総合医療センターアレルギー科)

### 【第 3 回】令和 6 年 1 月 9 日 (火) 13:30~16:30 質疑あり

○内容：小児アレルギーの最新知識と適切な対応

○講師：福家辰樹先生 (国立成育医療研究センターアレルギーセンター・総合アレルギー科診療部長)

【定員】 各回 1,000 人 (申込者 1 人について、参加 URL にアクセスできる PC・スマホは 1 台です)

【参加費】 無料

(裏面に申し込み方法と講師の略歴)

## (申し込み)

【申込方法】 各回ごとに、下記 URL、または QR コードにアクセスし、送信して下さい

- 申込 URL 第 1 回 (12 月 4 日) <https://forms.gle/ejPAD3Vrq6Qh7XW3A>  
第 2 回 (12 月 15 日) <https://forms.gle/2hwuYFGDL8yyVY9WA>  
第 3 回 (1 月 9 日) <https://forms.gle/zojpmCPAkSjyQv8GA>



(第 1 回)



(第 2 回)



(第 3 回)

(お願い) 「QR コード」を読み込む際には、申し込み回以外の「QR コード」が見えないようにしてください。誤って他のコードを読み込んでしまう可能性があります。お申込みが難しい場合は、下記の問い合わせ先までメールご連絡ください

【申込期間】 令和 5 年 9 月 1 日 (金) から、各回開催日の 14 日前まで

- \* 締め切り日の前に定員に達した場合は、その段階で受付を締め切ります
- \* 開催 1 週間前に当日の参加 URL と講演資料をダウンロードできるサイトの URL をメールで送信します。  
5 日前までにメールが届いていない場合は、下記の「母の会」HP「お問い合わせはこちら」からご連絡ください
- \* アクセスできる数に限りがあるため、申込者 1 人について、参加 URL にアクセスできる PC・スマホは 1 台です
- \* 研修内容の録音・録画・画面撮影、講演資料の 2 次使用、参加 URL の他人への譲渡はできません。適切な管理をお願いいたします。いただいたメールアドレスなど個人情報は本研修会でのみ利用いたします

【問い合わせ】 「母の会」HP (<http://hahanokai.org/>) 「お問い合わせはこちら」へ

### 【講師の紹介】

○古川真弓先生：さいわいこどもクリニック（東京・立川市）医師。獨協医科大学卒、国立成育医療研究センター総合診療部、東京都立小児総合医療センターアレルギー科などを経て現職。日本小児科学会専門医、日本アレルギー学会専門医。「食物アレルギー緊急時対応マニュアル」（東京都）を作成、「小児のアレルギー疾患 保健指導の手引き」(厚生労働科学特別研究班)を分担執筆した。都内の自治体の保健センターで、現場の保健師などとともに実際の保健指導にも携わる。



古川真弓先生

○福家辰樹先生：アレルギー疾患の国の中心拠点施設、国立成育医療研究センターアレルギーセンター・総合アレルギー科診療部長、医学博士、日本小児科学会指導医、日本アレルギー学会指導医。浜松医科大学卒、同大学講師などを経て現職。「小児のアレルギー疾患 保健指導の手引き」(厚生労働科学特別研究班)分担執筆者、日本小児アレルギー学会小児気管支喘息治療・管理ガイドライン委員、食物アレルギー診療ガイドライン 2016/2021 執筆協力者などを務める。



福家辰樹先生

### (NPO 法人アレルギーを考える母の会)

平成 11 年に横浜市で発足。アレルギー患者を適切な医療（標準治療）につなぎ健康回復を図る相談活動（年間約 400 人）を中心に、患者も賢く適切な医療を知る学習懇談会・講演会活動、相談から浮かぶ社会的な課題の解決を国や自治体、関連学会などに建設的に働きかける活動、また相次ぐ災害の被災地でも活動を継続している。厚生労働省や文部科学省などの連携の中で、厚生労働省「アレルギー疾患対策推進協議会」（平成 27 年 12 月～）などの委員も務める。第 69 回「保健文化賞」（主催：第一生命保険、後援：厚生労働省等、平成 29 年度）などを受賞している。